



ウトナイ湖通信

No.171

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 発行

トピックス

ウトナイ湖へおいでよ、子どもたち！

いよいよ夏休み。野生鳥獣保護センターでは、楽しいコトを用意して皆さんを待っています。

☆足跡をたどってみよう！☆

当センターに入館されたら、ぜひ目線を下にしてください。床などに様々な動物の足跡がついています。これは、来館者に楽しんでいただこうと、数年前にスタッフ手書きのシールを貼ったものです。

この夏は、閉館日を除く8月19日までの毎日、これらの足跡を残したのが誰なのかを探すイベントを開催しています。足跡は全部で8種。たどった先にいる持ち主(本物ではありません)を探し、写真に撮る、または用紙に書いて受付まで持って来ていただくと、参加賞(特製しおり)をプレゼントします。皆さんも、動物と同じように館内をウロウロ、キョロキョロしてください。



足跡をたどった先に、その持ち主が待っているよ



参加記念のしおり。全問正解の方にはシールを差し上げます

☆「夏のウトナイ湖・ウォークラリー」に参加しよう！☆

こちらも夏限定の恒例イベントです。約500mの自然観察路を歩いて一周しながら、途中のポイントに設置した8個のクイズに挑戦。ゴールで答え合わせ後、参加賞(特製しおり)をお渡しします。

クイズは、主に夏の植物に関するもので、多くは3択です。五感を使ってよく観察すれば、解ける問題ばかり。8月19日までの土・日曜日に開催しています。タイムレースではありませんので、午前10時から午後4時の間に受付を済ませていただければ、ご自身のペースで参加できます。野外でも、キョロキョロしてください。



センター内で受付を済ませ、いざ出発！



参加記念のしおり。全問正解の方にはシールを差し上げます



アオジ

【自然観察路情報】

2018年7月6日(金) 10:00~12:00

観察された生きもの

《野鳥》

アオバト、オオジシギ、ハイタカ、アカゲラ、ハシボンガラス、ハシブトガラ
シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、センダイムシクイ、コヨシキリ
クログミ、コサメビタキ、キビタキ、ビンズイ、ベニマシコ、アオジ



アオバト



ベニマシコ

《植物》

ホザキシモツケ、ノイバラ、ナワシロイチゴ、エゾノレンリソウ、ハナニガナ、エゾノカワラマツバ(以上、花)
イボタノキ、オニシモツケ、ノコギリソウ、エゾノサワアザミ(以上、つぼみ)
ヤマグワ、エゾニワトコ、ミズキ、カラコギカエデ(以上、実やタネ)



ナワシロイチゴ

《その他》

サトキマダラヒカゲ、クロヒカゲ、フタスジチョウ、イチモンジチョウ、エゾシロチョウ
セスジイトトンボ、ハンノキハムシ、ハッカハムシ、ハナムグリ、オトシブミ

【水鳥カウント調査結果】

2018年7月12日(木) 15:00~16:00

観察された水鳥、水辺の鳥、ワシ・タカ類 *()内は個体数

コブハクチョウ(3)、オオハクチョウ(1)、アオサギ(1)、イソシギ(1)
オオセグロカモメ(1)、トビ(2)、チュウヒ(1)、カワセミ(1)、種不明カモ類(1)



チュウヒ



8月の自然予報

確認される野鳥の種数は1年で最も少ない時期。子育てを終えた夏鳥は、早くも南へ渡る準備を始める頃でしょう。

例年に比べて水位が高く、泥地がほとんどないため、トウネンなどのシギ類は期待薄でしょう。



水浴びをするキビタキ(オス)
林内の「タスオ池」でも見られる



変わった形のキツリフネの花
名は「黄色い吊り船」の意味

例年より開花の早かったピンク色のホザキシモツケに代わり、白いナガボノシロワレモコウ、赤紫色のエゾミソハギ、黄色いくサレダマなどの花を目にするようになります。後半は青紫色のサワギキョウやエゾリンドウも見られるでしょう。

イトンボウオッチングがオススメ。細身のアオイトトンボ、大型のオオルリボシヤンマやギンヤンマなどが見られるでしょう。

草むらからはハネナガキリギリスの「ちゃん、ぎー」、カンタン「るるる..」といった声(翅をこすり合わせて出す音)が聞かれるでしょう。



水辺の草に止まるセスジイトトンボ(オス)

【イシサワオニグモ】

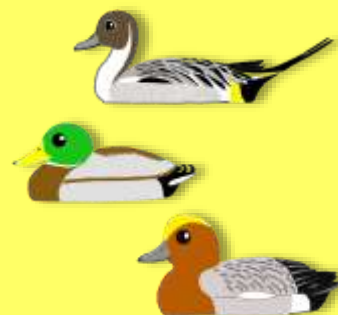
体長はメスで約1.5~2センチと比較的大型のクモ類。腹部のオレンジ色と黄色、茶色の複雑な模様が美しく、特徴的です。夏にウトナイ湖周辺の自然観察路を歩くと、特に川沿いの林で、子どもの目線ほどの高さに円形の網を張っているのを見ることができます。



ウトナイ湖に関するクイズ。毎回、その月にあわせたテーマで出題しています。あなたもウトナイ博士になれる？かも。

Q. この時期、カモ類の多くは一部を除き、ロシアなどで子育てをしています。さて、次にあげたカモ類の中で、ウトナイ湖でも繁殖しているのはどれでしょう。

- (あ) オナガガモ
- (い) マガモ
- (う) ヒドリガモ



答えは最後のページにあるよ。

傷病鳥獣ルームから



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺（苫小牧市行政区域内）において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をみなさまに知っていただくコーナーとして、ここでご紹介いたします。

オオハクチョウ

2018年 6月 12日 くもり

19:00、苫小牧市内の川で嘴に釣り針が刺さっている状態で発見される

6月13日

9:00 第一発見者から市役所に第一報あり。写真の提供を受け、市役所とセンターの職員で対応を協議。

16:00 現場の河川で、ネットによる捕獲に成功。直ちに刺さっていた釣り針を外し、出血部を圧迫止血。さらに化膿止めの軟膏を塗付する処置を施した。健康状態等には問題が認められなかったため、その場でリリースとした。

リリース



釣り針が舌と頬に刺さっていました



この後無事に家族と合流しました



実際に刺さっていたルアー

オオハクチョウ（カモ目 カモ科）

繁殖地はユーラシア大陸の北部で、北海道には旅鳥または冬鳥として湖沼や河川に渡来します。ウトナイ湖や苫小牧市内の川にはケガをして飛べずに、そのまま残っている個体が複数羽います。主に水草や植物の種子を主食としていますが、時に水生昆虫なども食べます

イベント情報

夏のウトナイ湖・ウォークラリー

日時：7月28日(土)・29日(日)・8月4日(土)・5日(日)・11日(土・祝)・12日(日)・18日(土)・19日(日)
10:00～17:00

対象：どなたでも

定員：なし

申込み：不要。当日、10:00～16:00に随時受付

内容：約500mの自然観察路を歩いて一周しながら、途中のポイントに設置された夏の自然に関するクイズに挑戦いただきます。ゴールでは答え合わせをし、参加賞をお渡しします。
(解答用紙を持って、それぞれ自由に問題を解いていくイベントです)



市民ギャラリー

「平成30年度 野鳥絵画展」

日時：8月2日(木)～8月23日(木)

展示：北海道

*8/2は13時から



足跡の先の動物を探してみよう！

日時：7月26日(木)～8月19日(日)

対象：どなたでも

内容：館内にある動物の足跡シールをたどって、その先にいる動物を探してください。



◆ウトナイ湖◆

周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。

鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。また、苫小牧市が業務の一部を(公財)日本野鳥の会に委託しています。

【利用案内】

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 TEL. 0144-58-2231 / FAX. 0144-51-8600

入館無料 / 開館時間：午前9時～午後5時 / 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

